

文化飛翔

平成23年度事業実施状況～この1年間の取り組み～

よこがお～会員紹介～

トピックス&インフォメーション

リレーエッセイ文化の小徑

2012

春号
Vol. 10



平成二十三年事業実施状況

この二年間の取り組み

平成十九年に山口県文化連盟が発足して、早くも五年が過ぎました。この間、県や市町と協力して、毎年、山口県総合芸術文化祭を開催し、どれも大成功を収めることができました。また、昨年は、おいでませ！山口県体山口大会において実施された文化プログラム事業に積極的に取り組み、県内外に本県の文化力を発信することができました。

加盟団体相互の連携、 交流及び情報発信

(1) 総会、理事会の開催

総会

開催日：平成二十三年五月三十一日(火)

開催場所：ホテルニュータナカ

文化交流パーティ

開催日：平成二十三年五月三十一日(火)

開催場所：ホテルニュータナカ

出席者：百四十四名

理事会

開催日：平成二十三年五月三十一日(火)

開催場所：ホテルニュータナカ

開催日：平成二十四年三月十五日(木)

開催場所：県庁

平成二十四年度の総会及び文化交流パーティは六月十二日(火)に開催する予定です。

詳細については、四月以降にお知らせいたします。

(2) 情報発信

会報の発行 年二回（九、三月末）

三、〇〇〇部／回

会報「文化飛翔」を加盟団体をはじめ、関係先等に広く配布しました。

(3) 地域の文化芸術活動支援事業

県内各地で行われる各種文化教室等に、実技指導を行う講師や指導者を八件（延べ十五回）派遣しました。

(4) 後援名義の提供

団体や個人が行う文化事業に対して、後援名義を提供しました。

(5) 県外の文化団体との連携

中国・四国ブロック県域文化団体連絡会議へ出席し、各県の文化団体との情報交換等を行いました。

開催日：平成二十三年十月八日

開催場所：いよてつ会館（愛媛県松山市）

第五回

山口県総合芸術文化祭の開催

メインフェスティバル



「音楽でつなぐ未来への架け橋」と題して、山口県内で活動するさまざまな音楽団体と県出身のプロアーティストと上野美科さん（ヴァイオリン）、中井亮一さん（テノール）を交え、総勢二百七十人の出演者で音楽ステージを創り上げました。

「音楽のジャンルも幅広く、楽しめた。」「県内の若い力に感動した!」、 「歌や演奏を通じて、みなが未来に向かってひとつになれた気がした。元気をもらった。」との声が寄せられるなど、会場を埋め尽くした観客に大きな感動を与えることができ、大成功を収めることができました。

分野別フェスティバル

分野別フェスティバルは、山口県文化連盟に加盟する分野別の県域文化団体が主体となって開催するイベントで、七月〜十二月までの六カ月間にわたり、音楽や文芸、生活文化等、十九分野の文化イベントが県内各地で繰り広げられ、約三万三千八百人の御参加をいただき、大きな成果を上げることができました。



講師(指導者)の

紹介・派遣レポート

地域の文化芸術活動支援事業

山口県文化連盟では、県内各地で行われる各種文化教室等で実技指導を行う講師(指導者)を紹介・派遣し、地域の文化芸術活動をサポートする事業を行っています。

今回は、その中から「親子のレザークラフト教室」の取組を紹介します。

「親子のレザークラフト教室」の開催

昨年十二月、小郡の子育てグループから、「親子で一緒に創作できるものを体験したい。」との相談を受け、当連盟から講師を派遣しました。

講師は、山口文化協会でレザークラフトの活動に取り組んでおられる本永厚子さんです。



十二月十二日(月)午前十時三十分子どもも八名、保護者六名が集合。まず、葉っぱ型にくり抜いた革が配られました。

本永さんの指導により、葉っぱ型の革の上に、カラフルな小さな革をボンドで貼り付

け模様を描いていきます。最後に、葉っぱ型の革の縁を湿らせ、内側に折り曲げます。湿らせると曲がり、乾くと固定する革の特性を活かして、葉っぱ型ペントレーが完成しました。

お母さんと一緒にトレイづくりに取り組み、作品を完成した子ども達は、皆、うれしそうでした。



参加者の感想

はじめてレザークラフトをしました。子どもと一緒に作品が作れて、とても楽しかったです。パパのクリスマスプレゼントにしようと思います。

レザークラフトは、初めての経験でした。折り紙や画用紙と違う触り心地に子どもも夢中になっていました。プレゼントした時のじじ(おじいちゃん)の顔が楽しみです。

子どもと楽しく作品を作ることができて嬉しかったです。いろいろな形を使って組み立てて作ったものを「これ、雪だるま」など、子どもが言えたのもびっくりしました。楽しい時間をありがとうございました。



牛革を手で触ることがあまりないので、とても貴重な経験でした。子どもも、ボンドをつけて貼るという簡単な作業で参加でき喜んでいました。

講師として参加した

山口文化協会 本永厚子

子育てグループ(小郡ぼっぼ)よりレザーに触れて親子で何か作品を作りたいという依頼を受けて、正直、最初は、未就園児にレザークラフトは難しいのではと思いましたが、色々な技法の中から簡単な切り皮を並べ、模様を作り、皮を曲げて造形した葉っぱの型をしたペントレーを作ることにしました。

いざ、始めてみると、お母さんと一緒に考えながら、時には遊びながら、嬉しそうに一生涯懸命、皮を貼ってゆく姿に感じました。

それぞれがオリジナリティに溢れ、その人だけのペントレーが出来上がりました。

親子で作られたトレイには、直接、メッセージが書かれ、お父さんやおじいちゃん、お世話になった方々へプレゼントされるそうです。

皆さんの喜ぶ姿を見て、とても嬉しく思いました。これからも気軽にレザーに触れて、楽しんでいただきたいと思います。



注目!

講師(指導者)の紹介・派遣

多くの会員の皆様の登録をお待ちしています

当連盟では、平成二十年度から、県内各地域で行われる各種文化教室、学校での部活動等で実技指導などを行う講師(指導者)を紹介・派遣し、地域の文化芸術活動をサポートする事業を行っています。

地域の文化芸術活動では、専門家による指導を必要としている場合が多く、本事業に取り組み意義を改めて感じています。

こうした地域や学校等のニーズに添えていくためには、講師(指導者)陣を一層充実させていく必要がありますので、会員の皆様の積極的な登録をお願いいたします。

◆実施の流れ

- ①申込み(利用者) ↓ ②講師紹介(事務局) ↓ ③打合せ(講師・利用者)
- ↓ ④実技指導・講座等実施

◆経費負担

- ・山口県文化連盟の負担で、一回の指導につき交通費等を支給
- ・申請者(利用者)に謝金、交通費の支給は求めない。
- ・お花やお菓子などの材料費は申請者(利用者)の負担

◆講師(指導者)の要件

- ・山口県文化連盟に加盟する団体(正会員)に所属すること。
- ・地域や学校等の文化芸術活動において実技指導・講義などが行えること。

*随時登録を受け付けています。

◆お問い合わせ先

山口県文化連盟
☎083-933-2610

このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

長門文化協会

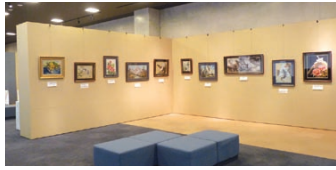
会長 上田 俊成
〒759-14106
長門市仙崎818-1
(公財)長門市文化振興財団内
☎0837-26-6001

長門文化協会は、広く芸術文化の創造と振興をはかるとともに、文化による豊かなまちづくりを行い、併せて会員相互の連絡を密にし、親睦を図ることを目的に平成八年に、これまでであった文化団体を再構築し発足しました。会員は美術、文芸、音楽、邦楽、謡曲、日舞、舞踊等の文化団体の会員が五十八、個人会員百二名、法人会員五十七団体で構成されています。

主な活動としては、長門市民文化祭の開催、広報誌「潮香」の発行、長門市美術展への協賛、公民館まつりや生涯学習発表大会、金子みすゞ顕彰全国俳句大会等の文化活動への助成、公益財団法人長門市文化振興財団の自主事業への後援等が挙げられます。特に、長門市民文化祭は、昨年で五十六回目を数える伝統ある行事で、ルネッサながとを会場に平素の活動の成果を発表する場となっています。

協会発足から十六年が経過し、この間、旧一市三町が合併し、新長門市が誕生しました。これに伴い、市内の文化三団体との連携を図るため、連絡会議を開催しています。その結果として、昨年十一月に第一回目の合同開催事業、香月泰男画伯生誕百年記念公演「ミュージカル「地球へ」…一瞬一生」を開催したところでした。

今後、加盟文化団体の活動支援、相互の協力を強化していくとともに、他団体とも連携を強め、長門市の文化の高揚を図っていきたくと考えています。



おごおり文化協会

会長 原田 正行
〒754-10002
山口市小郡下郷609-3
山口市小郡文化資料館内
☎083-973-7071

おごおり文化協会は、小郡を文化のかがり高いまちにするともに、文化に関わる人や文化に関心のある人々との交流、情報共有の場とするを目的に、平成十二年九月に発足しました。現在、文学・俳句・洋楽・邦楽・舞踊・工芸・書道・華道など、十二の部会に分かれ、三十団体、七百人の会員が、各分野において多彩な活動をしています。文化協会の主な活動としては、広報紙の発行のほか、年二回の「文化講座」と分野やテーマを選んだ「文化イベント」を一回程度行うなどしています。また、山口市美術展も共催として加わり、ともに、協働のまちづくりの一環として、「小郡地域づくり協議会」にも参画し、文化活動を通して地域振興の一役を担っています。

平成二十三年度の「文化イベント」は、『山頭火を歌う・詠う・謳う』と題し、小郡に深く関わった俳人「種田山頭火」の俳句を基調に、山頭火の足跡の一端をたどるとともに、新たな俳句の世界を構築し、邦楽などの伝統的な芸能と結びつけ、さらに、書や写真・絵画とを映像と展示でコラボレーションすることで、山頭火の生き様と現代、そして未来を結ぶ新たなメッセージを目と耳で想像していただく内容で、お客さまからも高い評価をいただきました。

今後、様々な分野の各団体の活動を支援し、交流を図りながら、小郡地域の芸術文化の発展に向け尽力していくこととしています。

山頭火を歌う・詠う・謳う

(芸能、書道、俳句、絵画、写真)による創造の世界を～



阿知須文化協会

会長 若崎啓一
〒754-11292
山口市阿知須飛石2743
阿知須地域交流センター内
☎0836-65-2022

当協会の前身である「阿知須の文化を高める会」は、昭和五十五年、阿知須町公民館の落成を記念して設立されました。以後、町民文化祭として、生涯学習の発表の場となり年々充実発展してまいりました。また、五年ごとに記念事業を企画し、功労者の表彰も行っています。

平成十六年から、従来の文化祭に加え、おげんきかん祭り(社協)を同時に開催し、文化関係で最大のイベントとなっています。文化祭を毎年十一月一日から三日までの三日間開催できるのは、幼・保・小中学校の協力を含め、地区の皆様の文化に対する関心の高さを示しています。

平成二十二年秋、創立三十周年記念事業を盛大に挙行することができ、その歴史と内容を鑑み、「阿知須文化協会」と改称する運びとなりました。現在、三十七団体六百名を超える構成ですが、特筆すべきはコーラスの六団体です。最近他団体とのコラボレーションも始まり成果も出ています。

昨年は六団体合同の発表をはじめ、山口きずな音楽祭、中学校体育館お別れ式、あじすふれあいフェスティバルに参加し、地域づくりに大いに寄与しています。

これからも文化の薫るまちづくりのため、加入団体の協力はもちろん、自治会、地域づくり協議会等すべての団体との連携を模索することによって、新しい形のコラボレーションが生まれることを期待しています。



山口県俳句作家協会

会長 中村 石秋
〒753-0841
山口市吉田3097-19
☎083-924-1532



山口県俳句作家協会は、山口県俳壇の振興と発展に寄与しようと努力する同志相互の親睦を図ることを目的として、昭和四十七年十一月三日に発足したが、その最も主要な事業は、昭和三十九年に第一回が開催された「山口県俳句大会」の実施運営です。「山口

県俳句大会」は平成二十四年度には第四十九回を迎えますが、五十回も目前となっています。現在役員数は中村石秋会長以下二十四名です。

会員は、毎年実施する「山口県俳句大会」への応募者そのまま会員となっており、平成二十三年度には七百四十名です。また、「山口県俳句大会」の応募作品集がそのまま「山口県俳句年鑑」となっており、県下各地域の句会・会派・会員の情報交流の場ともなっています。

かつて俳句最盛期には、「山口県俳句大会」への応募は二千名を越えていましたが、最近では減少傾向が続いています。この原因は俳句愛好者の高齢化が最も大きいと思われませんが、若年俳句愛好者が十分育っていないことも要因の一つでしょう。

今後は、未だ「山口県俳句大会」へ応募をしていない愛好者への呼びかけや、各地公民館活動などで初めて俳句に取り組んでいる人たちなどの掘り起こし、さらには、一部で行われている小学生への俳句教室などを通じて、積極的に次代を担う子供達へ俳句の面白さや新鮮さを伝えて行くといった活動も重要な業務であると考えています。

山口県母の合唱連盟

会長 田中 敏夫
〒747-0024
防府市国衙5-7-14-4
☎0835-24-0993

昭和四十三年「第一回山口県ママさんコーラス大会」を機に、「山口県母の合唱連盟」として発足しました。昭和四十六年に連盟を県教育委員会に設置し、「第八回山口県芸術文化祭」への出演以降、「やまぐち県民文化祭」、「山口県総合芸術文化祭」へと続いております。

平成八年「山口県母のコーラスフェスティバル」と名称も変わり、平成十二年には、事務局も県より独立しました。故岡田隆会長、砂田坦名誉会長、田中敏夫会長と、合唱経験豊かな指導者に恵まれ、演奏を通して心豊かな母の合唱を地域文化と交流親睦を重ねて参りました。三十七団体、約千三百名の会員の年齢も幅広く、第一回より出演の息の長い会員も元気に活躍いたしております。

合唱講習会も、国民文化祭を機に、「親と子のコーラスセミナー」とし、母の歌の学習とプロとの共演や親子で創り伝えるセミナー、明るい家庭・豊かな地域文化の向上に寄与し、心に響く美しいハーモニーの輪を育て、日本の歌・名曲を通して、未来に伝える努力をいたしております。



〔二十四年度の予定〕
第四十五回山口県母のコーラスフェスティバル 十月二十一日(日) 周南市文化会館 講師 田中敏夫(山口芸術短期大学教授)

山口県マーチングバンド連盟

会長 松浦 美彦
〒741-0072
岩国市平田5-52-110
岩国商業高校内
☎0827-35-2220

本連盟の主な活動は、全日本マーチングコンテスト山口県大会の開催と、マーチング講習会の開催です。マーチングコンテストは毎年、小学校三団体、中学校五団体、高校二団体が参加しています。マーチングは大変華やかできらびやかなので、どの学校も保護者の応援が活発で、演技開始直前には「がんばれ○○学校!」というような声援が飛び交います。普通のコンサートのような演奏と違い、かわいく、美しく、かつよく見えるのがマーチングの良さです。会場はいつも保護者や一般のお客様で満員になります。小学校は「フェスティバル」形式で、どんな演技・演出してもかまいません。小学生が一生懸命演奏・演技する姿には感動を覚えます。中学校・高校は主に「パレード」形式で、「周回」「マークタイム」「各列Uターン」などの規定課題を必ず入れなくてはなりません。全員で「周回」する際のコーナりの曲がり方などに各団体の工夫が生かされています。楽器を演奏しながら演技をするということは実は大変難しく、体力も相当消耗します。大会は毎年九月に開催します。真夏の暑さ中、主に運動場などで真っ黒に日焼けしながら練習をするのです。運動部さながらの厳しさですが、各団体ともそれを乗り越え、本番では素晴らしい演奏・演技を披露してくれます。演技終了後の晴れやかな顔は、厳しい練習に打ち勝った喜びにあふれているようです。今後この活動が発展するように、努力していきたいと思えます。



山口県からの お知らせ

平成二十四年度 主な文化関係事業の概要

■美術館子ども芸術文化普及事業

次世代を担う子どもたちに、美術にふれ親しむ機会を提供するため、地域の文化資源を活用したワークショップなどを開催します。

〈概要〉

【県立美術館】

・郷土画家 香月泰男、シベリア・シリーズ」に関する授業の支援

・ワークショップ（シベリア・シリーズ、澄川喜一展、防長の絵図展）

【萩美術館・浦上記念館】

・子ども等を対象とした陶芸ワークショップの開催

・美術館で開催する陶芸に関する展覧会に併せ、ワークショップで作られた作品を展示

■三県省道民俗文化芸術交流事業

山口県と山東省との友好協定締結三十周年、山口県と慶尚南道との姉妹提携二十五周年を記念した文化交流事業を実施します。

〈概要〉

伝統芸能フェスタ（仮称）

開催時期：七月二十二日(日)十四時～

開催場所：山口県教育会館（山口市）

■美術館企画展開催事業

県立美術館と萩美術館・浦上記念館において、次のとおり展覧会を開催します。

平成24年度企画展

県立美術館

企画展名	期間	内容
カンヴァスに描かれた女性たち展	4月26日(木)～6月10日(日)	15世紀から19世紀にかけて西欧の芸術家達がとらえてきた女性の姿をテーマ別に紹介
生誕100年記念 ロベール・ドアノー展	7月12日(木)～8月26日(日)	フランスを代表する写真家ロベール・ドアノーの人間愛に満ちた作品を紹介
防長の絵図-美しき古地図の世界	7月24日(火)～8月26日(日)	文書館に所蔵される古絵図のなかから萩往還を描いた古絵図を中心に約20点を紹介
第66回山口県美術展覧会	10月4日(木)～10月21日(日)	66回目の開催となる全国的にも独創的で評価の高いノンジャンルの公募展
大正ロマン 昭和モダン展 -竹久夢二・高島華宵とその時代-	11月17日(土)～12月24日(月・休)	竹久夢二や高島華宵の作品を中心に風俗や流行に敏感にとらえていた大衆アートの世界を紹介

萩美術館・浦上記念館

企画展名	期間	内容
アール・デコ 光のエレガンス	4月28日(土)～6月17日(日)	1920年代のデザイン性豊かな照明器具を中心に、再現コーナーを交えて芸術的空間演出を紹介
龍泉窯青磁展 -日本人の愛した中国陶磁-	6月23日(土)～8月26日(日)	鎌倉時代から室町時代にかけて輸入された中国青磁の名品と最新の出土品を併せて紹介
清親と安治展 -光線画の時代-	9月8日(土)～10月8日(月・祝)	明治の浮世絵師小林清親と井上安治の光線画をはじめとする風景版画や肉筆画などを紹介
古萩 -江戸の美意識-	10月20日(土)～12月9日(日)	侘びた風情の感じられる伝世の古萩茶碗や表現力豊かな細工物の造形を紹介

平成二十三年度秋以降の 文化・芸術関係表彰者の 皆さん

■地域文化功労者表彰(文部科学大臣表彰)

坂東 三嘉寿美(芸術文化)
小鯖代神楽舞保存会(文化財保護)

■山口県選奨

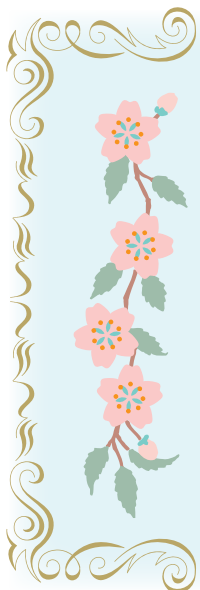
中井 勝(芸術・文化・スポーツ功労)
田村 洋(芸術・文化・スポーツ功労)

■山口県文化功労賞

田辺 武(美術/彫刻)
三村 夏彦(美術/建築)
中川 健次(文芸/短歌)
岡昌子(文芸/顕彰活動)
中島 泰(音楽/指導)
米本 俊明(演劇/狂言)
花柳 三吉(舞踊/日舞)
藤井 繁子(生活文化/華道)
プリマヴェエラ合奏団(音楽/合奏)

■山口県文化特別褒賞

田中 慎弥



文化芸術活動に対する各種支援情報をご紹介します。
*募集中のものや近く募集が予定されているものなどを掲載しています。

エネルギー文化・スポーツ財団が行う文化活動支援事業について(予定)

I 平成二十四年度エネルギー文化・スポーツ財団助成事業(後期)
○対象者 中国地域に所在する文化・スポーツに関する団体

○対象事業 美術の展示活動、音楽の公演活動及び伝統文化の保存・伝承・復活・復元・発表活動であつて、中国地域に在住者が過半数を占め中国地域内において行われる活動
※平成二十四年十月一日から平成二十五年三月三十一日までに行われる事業が対象です。

○助成金額 助成対象経費の二分の一を限度(原則十万〜五十万円/件)

II 募集期間等

○申込方法 平成二十四年五月〜六月(予定)
当財団所定の様式の申込書に必要事項を記入の上、県(文化振興課、社会教育・文化財課又は学校安全・体育課)又は当財団事務局に提出。

※申請があつた事業がすべて助成されるとは限りません。
※詳細については、財団が二十四年五月に発行する募集要項を参照して下さい。

III

お問い合わせ先 エネルギー文化・スポーツ財団事務局

〒730-0041

広島市中区小町4-33 中国電力内

☎ 082-542-3639

ホームページ

<http://www.gr.energy.co.jp/bunspo/>

山口県文化振興財団が行う支援事業について(予定)

I 平成二十四年度「地域文化活動支援事業」「郷土文化活動支援事業」(追加募集)
○対象者 山口県内で主に活動する民間団体等

○対象事業

・山口県内において行われる地域文化活動
・山口県内における特色ある郷土文化を保存・伝承するための活動
※平成二十四年十月一日から平成二十五年三月三十一日までに行われる事業が対象です。

II 募集期間等

○お問い合わせ先 平成二十四年六月〜七月(予定)

III

山口県文化振興財団は、平成二十四年四月二日付けで、やまぐち県民活動きらめき財団、やまぐち女性財団と合併し、新たに公益財団法人「山口きらめき財団」としてスタートします。

○四月一日までのお問い合わせ先

山口県文化振興財団事務局

〒753-8501

山口市滝町1-1 山口県文化振興課内

☎ 083-933-2610

○四月二日以降のお問い合わせ先

山口きらめき財団事務局

〒753-0082

山口市水の上町1-7 水の上庁舎二階

☎ 083-929-3600

ホームページ

<http://www.y.kirameki.or.jp>



第63回 全国植樹祭やまぐち2012

開催日：平成24年5月27日(日) 開催会場：山口市阿知須きらら浜

山口県は、新しい世紀のはじまる2001年に、「いのち燦めく未来へ」をテーマに「山口きらら博」を開催し、新しい時代の、新しい県づくりをスタートしました。

2012年春、ふたたび、海から生まれた大地「きらら浜」を舞台に「育む いのち」をテーマに第63回全国植樹祭を開催し、本県の森林づくりや緑化活動の取り組みを全国に発信する絶好の機会として、また、県民参加によるみどり豊かな県づくりを進める大きなきっかけにしたいと考えています。

全国植樹祭とは…?

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に、天皇皇后両陛下のご臨席のもとで行われる国土緑化運動の中心的行事です。

本県での開催は、昭和31年防府市で第7回大会を開催して以来、56年ぶり2回目となります。

お問合せ 第63回全国植樹祭山口県実行委員会事務局 (山口県農林水産部全国植樹祭推進室)
〒753-8501 山口県山口市滝町1-1 TEL: 083-933-4980

ホームページ

全国植樹祭やまぐち

検索

文化の小徑

文化創造・

発信への醸成は



(社)全日本合唱連盟常務理事
山口県合唱連盟理事長
山口県音楽協会会長
末廣 正巳

平成二十三年三月十一日の東日本大震災、そして福島第一原発事故から一年、これから数年、数十年と云う長いながい厳しい復旧・復興・再生への道程を歩まねばなりません。日本国民の感性・器量が歴史の中で問われることになり

ます。「秋吉台国際芸術村」誕生（平成十年八月）のとき、秋吉台国際芸術村基本構想策定委員長として参加したチーム、当時の文化振興課をはじめ県職員の皆さんの情熱は見事で、種々の困難を乗り越え、オープン事業へと結びつけました。オープン事業は、細川俊夫芸術監督による、テーマ「ルイジ・ノーノとヘルムート・ラッペンマン」で、二十世紀後半の最大の傑作であるノーノのオペラ「プロメテオ」を、アンサンブル・モデルン／フランクフルトやフライブルグ合唱団他により、日本初演し、現代音楽の最先端の企画・質・内容で、まさ

に世界に発信しました。

日本の著名な作曲家や演奏家が驚くほどに集結し、「秋吉台国際芸術村」が、全国へ、世界へと芸術創造発信の城として、最高の輝きで誕生した瞬間でした。山口県が膨大な準備と情熱を持って成し遂げた歴史的な文化創造事業でした。委員会は、音楽評論家 長木誠司氏（東京大学教授）、自治省課長 石井隆一氏を始めとする充実したものでした。石井氏は、現在、富山県知事ですが、その文化に対する造詣の深さには感銘を受けました。

小都市からの発信と云えば、イタリア・ウンブリア地方の小さな古都スポレートで開催されていた国際芸術祭があります。メノッティが芸術監督で、長い歴史を持つ内容・規模ともに見事なもので、世界から芸術家たちが集結していました。晩年の寺山修司一行もスポレートの劇場で公演しました。又、偶然、眼にすることができた若くして急

逝したシノーポリのデビューもここでした。このように、文化の創造・発信は、鋭い知性と感性を併せ持った視野の広いマンパワーの存在と地域の精神的風土の醸成、そして行政との阿吽の呼吸により生まれ、とてもないパワーで為されます。イタリアの Cosenza 及び Emma での国際オペラコンクールでは、高名なオペラ歌手ジャンニ・ライモンディ、アルド・プロッティ氏ら他と一緒に、審査員の一人として貴重な体験をしました。このコンクールの優勝者と、後年、ズービン・メータ氏率いるウィーンシュターツオーパーで再会し、その成長ぶりを喜びました。

山口県内で長年繰り広げたヴェーナー・トーヴェン「第九」公演は、各地域の方々との交流が深まり、意義深いものがありました。県内の総力を挙げて取り組んだオペラ「フランチスコ サヴィエル」も多くのスタッフと地域住民、そして行政の多大なパワーを頂き、大成功しました。山口県には素晴らしい音楽家も次々と誕生しています。若い彼らの未来に大きな希望と期待をしたいと思えます。

賛助会員の皆様

平成二十三年十月以降に御入会いただいた賛助会員の皆様です。

●個人（敬称略・順不同）

※御本人の御了解をいただいた方についてお名前を掲載しています。

賛助会員を募集しています

山口県文化連盟の活動に御協力いただける賛助会員（個人又は団体）を広く募集しています。

年会費 1口5,000円

*賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。
*入会受付は随時しておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

申込方法

所定の入会申込書兼振込書にて年会費のお振り込みをお願いします。
詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

編集
後記

平成23年度は、「おいでませ！山口国体・山口大会」において実施された文化プログラム事業に積極的に取り組み、山口県の文化力を県内外に発信することができた年でした。

東日本大震災から1年が経ち、各地で様々な取り組みがされていく中で、人々に心の安らぎや、生きる希望を与える文化芸術の力が、一層、大きく感じられています。